

会 議 録

会議名 (審議会等名)	令和7年度相模原市障害者差別解消支援地域協議会		
事務局 (担当課)	高齢・障害者福祉課 電話042-707-7055 (直通)		
開催日時	令和8年2月6日(金)		
出席者	出席 20人 欠席 4人		
公開の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可	<input type="checkbox"/> 不可	<input type="checkbox"/> 一部不可
	傍聴者数	0人	
公開不可・一部不可の場合は、その理由			
会議次第	<p>1 議題</p> <p>(1) 相模原市障害者差別解消支援地域協議会について</p> <p>(2) 障害を理由とする相談事例等について</p> <p>(3) 障害者差別解消に関する取組について</p> <p>(4) その他</p>		

議 事 の 要 旨

主な内容は次のとおり。

1 議 題

(1) 相模原市障害者差別解消支援地域協議会について
事務局から資料1-1、1-2に基づき説明を行った。

(2) 障害を理由とする差別の相談事例等について
事務局から資料2-1、2-2、2-3、2-4、2-5に基づき説明を行った。
障害を理由とする差別の相談件数：R7.1.1～12.31の間に9件の事例提出
⇒昨年22件だったため減少。

(川合委員)

前年と比較して相談件数が減少したとのことだが、問題となる差別事案が減ったということか。好事例の報告で大阪万博での体験があったが具体的な事案があれば教えてほしい。

(事務局)

事案が少なくなったとはっきりとは申し上げられないが、減っていることは想定される。しかし、合理的配慮がされていないといった事例もあるので市としては引き続き差別解消に向けた啓発を続けていく必要があると考えている。また好事例をより幅広く収集できるよう調査方法を検討していく。大阪万博での具体例は確認できていないのでそこも調べていきたい。

(小林(麻)委員)

民間事業者も合理的配慮を行うことが義務化されたが、民間でそれを行う難しさもあると思う。事業者側からこういった対応が難しいなど、話ができれば教えてほしい。

(事務局)

障害がある方から合理的配慮がないという相談があり、事業者を確認してみると、障害がある方の認識と事業者ができる範囲のことに乖離が生じている。事業者が悪いというわけではなく、対話の中で問題が生じることが多いので、市としては事業者から相談があれば、建設的な話し合いのために配慮できること・できないことをしっかり相手に伝えてもらうよう話をしている。

(小林英委員)

私は民間の立場で参加しているが、協議会の開催前に各委員の所属等で障害者差別の事案がないか調査してもいいと思う。横浜市では組合の事務所に市職員が来てレクチャーしている。相模原市も自発的な働きかけ・掘り起こしてしてほしい。今

回の調査で件数が減ったとのことだが、調査範囲を広げればまだ出てくると思う。

(事務局)

聴取先が限られていることは改善に向けて検討したいと思う。後ほど説明する、来年度より開始するサポーター制度を始めるが、その中で広く一般の方々から事例を収集して、合理的配慮が行き届いた環境づくりを進めていきたいと思う。本市でも民間事業者に対しては商工会議所を通じて合理的配慮の事例集・リーフレットを配付しているが、今後も周知改善に向けて検討していく。

(3) 障害者差別解消に関する取組について

事務局から、資料3に基づき説明を行った。

・理解を深めるための新規採用職員向けの研修をはじめ、市民向け・法人向けの様々な研修を実施。

・令和8年度より「共にささえあいサポーター」養成講座の実施

(中島委員)

共にささえあいサポーター養成講座について、対象に児童・生徒が含まれているが、自発的に受けるということか。学校の授業の一環として行うことは検討しているのか。各学校には支援級もあるので、是非学んでほしいと思う。

(事務局)

調整中ではあるが学校の授業等で取り扱ってもらえるよう働きかけている。

(西村委員)

共にささえあいサポーターと共生社会推進サポーターの住み分けはどうなるのか

(事務局)

共にささえあいサポーターはまず知ってもらうことを前提に、入口の講座として考えている。一方で共生社会推進サポーターの研修はディスカッションなど2時間の研修があるのでステップアップ講座として考えている。法人が共生社会推進サポーター講座を受けて認定された場合、ホームページで公表するなどの運用も検討している。

(会長)

令和8年度開始に向けて進めているところで、詳細が決まったら市ホームページ等で皆様にもお知らせしていけたらと思う。

(野沢委員)

共にささえあいサポーターに関して、10年で市の人口の1割にあたる7万人養成が目標とのことだが人数以外に効果測定・事業評価の方法は検討しているか

(事務局)

養成人数がひとつの大きな指標ではあるが、障害者に関する計画策定の中で市民へのアンケートが障害者への理解が進んでいるかを問う項目があるのでそれらを

指標にしていきたいと考えている。

(西村委員)

新規採用職員研修で津久井やまゆり園を訪れるのはいいと思う。是非他の障害者に関する事業所や活動も見てもらえたらと思う。また市民向け障害平等研修（DE T）は市職員の研修に取り入れてもらえたらと思う。

(事務局)

貴重なご意見として今後検討していきたいと思う。

(4) その他

情報提供なし。

以 上

相模原市障害者差別解消支援地域協議会委員出欠席名簿

	氏 名	所 属 等	備考	出欠席
1	米山 守	相模原市地域包括ケア推進部 部長	会長	出席
2	古谷 ゆう子	横浜地方法務局相模原支局 総務課長		出席
3	佐々木 学	相模原公共職業安定所 次長		出席
4	山本 高生	神奈川県相模原警察署 警務課住民相談係		欠席
5	坂川 智律子	神奈川県相模原北警察署 警務課住民相談係		出席
6	藤田 将人	神奈川県相模原南警察署 警務課住民相談係		出席
7	牧瀬 純郎	神奈川県津久井警察署 警務課住民相談係		出席
8	川合 きり恵	神奈川県弁護士会		出席
9	横地 厚	学校法人和泉短期大学		出席
10	廣瀬 憲一	一般社団法人相模原市医師会 理事		出席
11	渡貫 隆	相模原商工会議所 事務局長		欠席
12	小林 英樹	神奈川県飲食業生活衛生同業組合相模原支部		出席
13	小林 麻衣子	社会福祉法人相模原市社会福祉事業団 事務局長		出席
14	野沢 重幸	社会福祉法人相模原市社会福祉協議会 事務局長		出席
15	西村 三郎	相模原市障害福祉事業所協会 副会長		出席
16	新井 清美	相模原市身体障害者連合会		出席
17	新山 由子	一般社団法人相模原市手をつなぐ育成会		出席
18	新山 明日香	一般社団法人相模原市手をつなぐ育成会		出席
19	定形 和子	みどり会（相模原市精神保健福祉家族会） 会長		欠席
20	五十嵐 吉郎	精神障がい者仲間の会（あしたば会）		欠席
21	猪野 寛之	相模原市立小中学校PTA連絡協議会		欠席
22	大木 恵	相模原市自治会連合会 理事		出席

23	中島 今子	相模原人権擁護委員協議会		出席
24	藤野 互由	相模原市民生委員児童委員協議会 常任理事		出席